

ナラ枯れ・松くい被害 対策から見直す 持続可能な 地域の森の 育て方



講習会：7月10日(土)
保健センター / 大磯運動公園

最近、町内の森の所々に出現している茶色く枯れた木にお気づきでしょうか？

「**ナラ枯れ**」という病気にかかって枯れてしまった樹木です。虫が入って樹液道が塞がったことが原因と言われています。「しかし、なぜ最近になって広がっているのでしょうか？」

この問題に対して、根本的な原因を問いかける「**土中環境**」という視点があります。

人間の生活によって、「**土の中の水の流れ**」が遮断されたことが原因で、樹木が健全に育たなくなっているというものです。これは単に森だけでなく、町の環境全体にも関わることです。

将来に豊かな森や自然を残していくために、講師をお招きし、根本的な対処を学ぶための講習会（**講演会＋現場実習**）を開催します。

座学で「**土中環境の視点**」を学び、実習で「**土地が自立的に回復していくための作業の仕方**」を学びます。

【講演会】 ■ 講師 高田宏臣氏（NPO法人地球守代表理事）

■ 10時00分～12時00分（保健センター2F研修室）

【現場実習】 ■ 13時30分～16時30分（大磯運動公園）

【持物/服装】 スコップ、剪定ばさみ、手のこぎり/ナタ、大きめのドライバー（ねじ回し）、作業手袋、長靴、動きやすい服装 ※赤字は必須、黒字は可能な範囲で持参。

【申込み方法】 事前予約制（50人程度） / 参加費無料

①氏名・②年齢・③性別・④住所・⑤電話番号を、電話、FAXまたはEメールにてお送りください。**【締切】 7月7日（水）まで**

※応募者多数の場合は、**町在住者、申込順**を優先とします。ご了承ください。

※午後の**現場実習は現地集合**です。当日は、専用駐車場を設けますが、台数に限りがあるため、**なるべく乗り合って**ご来場ください。

※雨天の場合、午後の現場実習は中止になる場合があります。

※当日は、ご来場いただけない方のために、ZOOMによる同時配信をします。（講演会のみ）

【ZOOM申込】 事前予約制 / 先着100名まで

Eメールにてお申込みください。申込受付後、Eメールにて、IDとパスコードを送付します。

問合せ/申込み：大磯町 都市建設部 都市計画課 都市計画係

Tel:0463-61-4100(内線239) : Fax0463-61-1991

Email: oubo-toshikeikaku@town.oiso.kanagawa.jp

ナラ枯れとは？



根元にたまったフラス

ナラ枯れとは、**カシノナガキクイムシ**が媒介する「**ナラ菌**」によって、コナラやシイ・カシ類などの樹木が枯れる伝染病で、虫が入って樹液道が塞がったことが原因と言われています。

ナラ枯れ被害の特徴

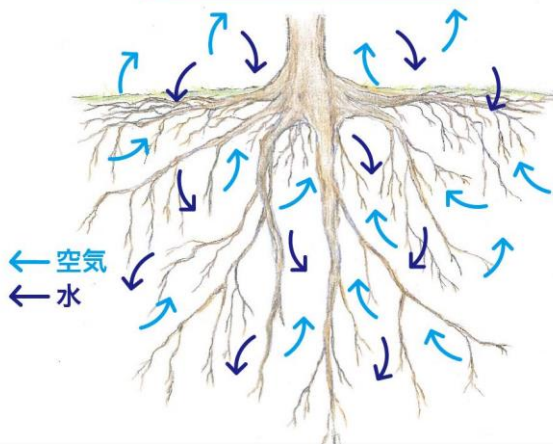
- 7月～9月に葉が**赤褐色に変色**し枯れる。
- 幹の根元に**大量のフラス**(木くずと虫の排泄物が混じった粉状のもの)がある。
- 幹に直径1.5ミリ～2.0ミリの**多くの孔**がある。

土中環境とは？

環境を「**土の中まで含めて環境**」として捉える見方です。
土中の水と空気の動きという視点から、山・川・海・大地・樹木の環境劣化の原因を探っていきます。

健康な土中では空気と水がよく動き、微生物や菌糸の発達が旺盛で空気と水の循環を助けます。

健康な土中環境の根っこ



不健康な土中環境の根っこ



土中が詰まった硬化した場所では、乾燥し、根は浅く根上がりします。

【このような場所で起きやすい事】
倒木 / 土砂崩れ / 地滑り / 藪化

【講師プロフィール】 高田宏臣（たかだ ひろおみ）

高田造園設計事務所代表。1969年千葉県生まれ。東京農工大学農学部林学科卒業。1997年独立。2003～2005年日本庭園研究会幹事。2007年高田造園設計事務所設立。2016年～2019年NPO法人ダーチャサポート理事。2016年～NPO法人地球守代表理事。

国内外で造園・土木設計施工、環境再生に従事。土中環境の健全化、水と空気の健全な循環の視点から、住宅地、里山、奥山、保安林等の環境改善と再生の手法を提案、指導。大地の通気浸透性に配慮した伝統的な暮らしの知恵や土木造作の意義を広めている。行政や民間団体からの依頼で、環境調査、再生計画の提案、講座開催、および技術指導にあたる。主な著書に『土中環境』（建築資料研究社）『これからの雑木の庭』（主婦の友社）、共著に地球守の自然読本シリーズ、他。

